

パブリック・サービス研究分科会 1 月 「図書館力」研究グループ報告書	
日時	2011 年 1 月 27 日(木)
場所	成城大学
記録	池上 (東洋英和女学院大学)
参加者	阿部 (早稲田大学)、池上 (東洋英和女学院大学)、市川 (法政大学)、菅原 (中央大学)
欠席者	田中 (山梨英和大学)、武藤 (中央学院大学)

## 作業内容

### ①各大学で行っていること

中大：人事課作成の職員向けオープン研修一覧に図書館における研修も含まれている。  
昨年より話が出て、来年度よりスタートする。各部署でそれぞれ時期を異にして行う。

法政大：情報リテラシー教育のうち、「資料の検索・収集」は図書館員がガイダンスを行い、指導している。「文献の読解・執筆」は、代ゼミ等の予備校講師を招き、レポート作成講座を年 2 回行っている。(予備校は大学部系の授業を展開している。)

ゼミサポートについては、担当を振られサポートを行っているものの、数年で異動する職員がサブジェクトライブラリアンを担うのは難しい。

一方で、ゼミサポートを行うことで、学生・教員と信頼関係を築くことができる。

### ②論文について

対学内者：図書館についてもっと理解してもらいたい

対学士力の向上：質の保証について、図書館がどう貢献できるかアピールしたい

どこに焦点を合わせるか？

正課としての授業を図書館員が行うことで、図書館の地位が上がる。(例：明治大学)

### ③「大学図書館の整備について (審議まとめ)」

P17～「大学図書館職員に求められる資質・能力等」について読み込み

## 【参考資料】

大学図書館の整備について (審議まとめ)

## 次回までの課題

4 月の分科会までに、海外の大学についての資料を収集する。

ウォーリック大学：阿部

ジョージメイソン大学：池上

ニュージャージー大学：市川

ワシントン大学：菅原

ウエストシドニー大学：田中

(以上)